



🍁 11月朝礼 校長先生のお話 🍁

先々週の土曜日の運動会は、みなさんのがんばりで素晴らしい運動会になりました。どの学年も練習に真剣に取り組んで演技がどんどん上手になりました。当日も、みなさんの演技や応援などの姿に、袋井北小学校の二つのめあて、「友達をもっともっと 笑顔にしよう」と「協働」がしっかりと表現されていました。見ていて感動する、とってもうれしい運動会でした。

今年の運動会も、コロナウィルス対策として、学年団ごとに2時間ずつ行いましたので、6年生以外のみなさんは、見るができなかった学年があります。そこで、今日は、運動会でどんな素敵な姿が生まれたのか、写真を見て共有したいと思います。実際に見ることはかなわないでしょうが、心を込めてがんばっている様子は伝わるとおもいます。そして、学年を超えて、「ここがよかったよ。」「がんばったね。」など、伝え合う対話が生まれるといいなと思っています。

運動会は、3年生の種目から始まりました。「東京五輪を超えろ!北小五輪6クラス頂上決戦リレー」は、情熱的な走り、東京五輪の雪辱を果たすことができ、この日の天気と同じように、心が晴れ晴れしたと思います。4年生の「つなげ絆 届けバトン 4年生全員リレー」は、バトンを上



手につなごうと精一杯走り、どのクラスもタイムが伸びました。3年生の「3 サン SUN ソーラン節」は、動き、かけ声ともに力強く、水色のひまわりがあったらこんなふうに明るさを振りまいたのではないかと思います。4年生の「吹けA・RA・SHI 巻き起こせ北小タイフーン」は、コーンの回り方が難しかったということですが、上手に効率的に回っている様子に練習の成果が現れていました。



1年生の「ぜんいんりレーでつなごう!ともだちのわ」は、みんなでがんばってリングバトンをつなぎ、友達の輪がますます深まったのではないかと思います。2年生の「走ってつなげ!!ぐんぐんリレー!!」は、スピードを落

とせずにコーンを上手に回ることができるようになり、3



年生に向けてぐんぐん成長していることが感じられました。1年生の「ここにおいてよ!おドランピック」は、上手になった踊りに合わせてボンボンも元気いっぱい動き、見ていて心も元気になりました。2年生の「ぐんぐんダイナマイト」は、みな



さんのダイナミックで伸びやかな動きで、ボンボンも日の光を浴びてきらきら輝き、美しいイルミネーションを見ているようでした。

5年生の「相手は自分たちの記録だ!クラス対抗全員リレー」は、特にバトンゾーンの使い方、バトンパスが上手で、協働を大切にした練習で記録を伸ばしたことが立派でした。6年生の「みていてくれ。6年をつないでいこう。北小を」は、気迫ある走りが迫力満点でした。さすが、最上級生の走りと思いました。5年生の「私たちのアイデアいっぱい! 4合わせ南中ソーラン」は、自分たちで成功させようという情熱がクラスのまとまった動きを作り、各学級のオリジナル感あふれる動きも、その4つがコラボした動きも見応えがありました。かけ声の勢いにも、頼もしさを感じました。6年生の「未来へ」は、心がひとつになったダイナミックな動き、巧みな動き、しなやかさやたくましさあふれる動きに、未来へ立ち向かっていく力強さを感じました。美しさにも圧倒されました。



6年生は応援や競技の進行もリーダーとして活躍してくれました。みなさんのがんばりによって運動会が大成功に終わりました。ありがとうございました。

今、日本の学校教育は大きな転換期を迎えています！

<これからの社会>

社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」



令和の日本型学校教育



<子供たちに育むべき資質・能力>

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。



新型コロナウイルス感染症への対策や対応だけを考えてみても、「予測困難な時代」に「多様な人々と協働しながら様々な社会的変化(困難)を乗り越える」ことの難しさと重要さを実感させられます。

本校では10月から子供たちが毎日タブレット端末を持ち帰っています。各学年で、タブレットで行う家庭学習を子供たちに課しながら、子供たちがタブレットを活用して学び、学力を向上させることを目指しています。子供がランドセルに毎日タブレットを入れて登下校する、過去にはなかった光景です。子供を見守る我々大人も、時代に合わせて、自らの思考や子供への対応を順応させていく必要があるでしょう。

タブレットでお子さんは何をやっているのでしょうか。どんなことができるようになってきたでしょう。「子供から教えてもらう」そんな姿勢でお子さんに話し掛け、生の会話をたくさんしていただきたいと思います。

「タブレットばかりいじっていて心配だ。」学校には保護者からのそんな声も時々聞こえてきます。学校でも使い方については指導していますが、御家庭でもお子さんと一緒にタブレットの使い方について約束事を作っていたきたいと思います。そのためには、まずはどんなことをしているかを知ることが必要です。